

OH8 オフィス



「既存の良さを残し、再解釈する行為
そして新しい試みを加えること」

築40年の鉄骨造3階建て1階部分に位置する

1つのオフィス空間を2つのオフィス空間への改修。

外部建具の性能をただ向上してほしいという改修工事の依頼から
既存の建物の良さを活用し、空間性、断熱効果を向上させたプロジェクト。

冬季には窓からの冷気が進入し、夏季には強い日差しを受けるために
ブラインドが締められ外から見るとあやしげな閉鎖的空間となっていた。

負の要素でしかなかった既存の連続した窓をどのように
新しい空間に落とし込みプラスの方向へ変化させられるかを考えた。

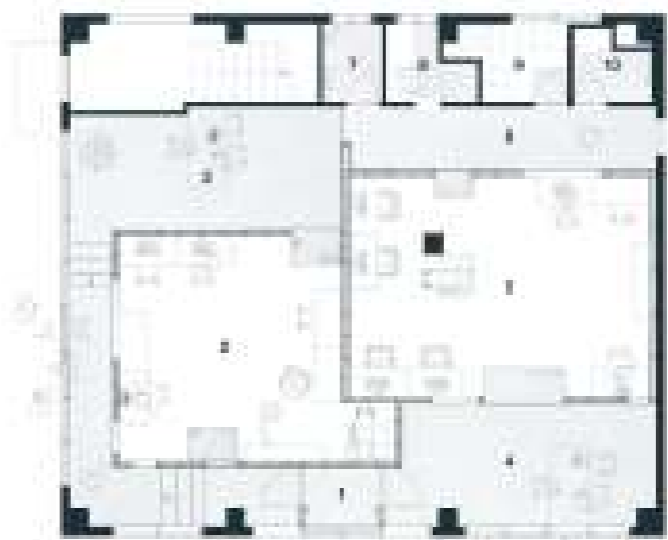
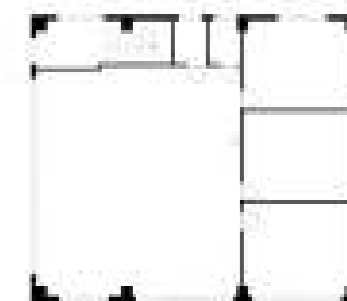
今後、環境の厳しい北海道にも増えていくリノベーションの
一つの形を提案できたであろう。

デスクワークなどで長時間滞在する空間に対しては既存内部空間にもう一つ内部空間を作り、
壁には断熱材（グラスウール16K）を柱間に施し、エアボリュームを小さくして冬季間の
断熱効果と空調効率を高めることと、採光調整を優先に考えた。

外部と内部空間の間に窓が連続する緩衝空間をつくり
その緩衝空間がオフィスで働く人と他の人を
結びつけるような多様な場所となるように構成とした。



改修前



- 1 : entrance
- 2 : office1
- 3 : meeting room1
- 4 : meeting room2
- 5 : office2
- 6 : common area
- 7 : wc(man)
- 8 : kitchen
- 9 : locker room
- 10 : wc(woman)